

<No21 : 地図編集>

三次元立体である地球を二次元平面に投影するに当たり、様々な投影法が考案されている。このうち、地球を取り巻く円筒面を投影面(地図)とするものを円筒図法という。円筒図法のうち、メルカトル図法と呼ばれているものは、どの図法に分類されるか。次の中から選べ。

1. 平射円筒図法
2. 正射円筒図法
3. 正距円筒図法
4. 正積円筒図法
5. 正角円筒図法

<No22 : 地図編集>

図 22 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部 (原寸大、一部を改変) ある。次の文は、この図に表現されている内容について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 図書館より北側へ約 300 m の地点に裁判所が有る。
2. 忠節橋の長さは、約 400 m である。
3. 金華山頂と市役所付近の標高差は、300 m 以上である。
4. ロープウェイの「さんろく」駅と「さんちょう」駅の標高差は、200 m 以上である。
5. 標高 328.9 m の三角点は、図中の地域内に設置されている三角点の中で最も標高が高い。

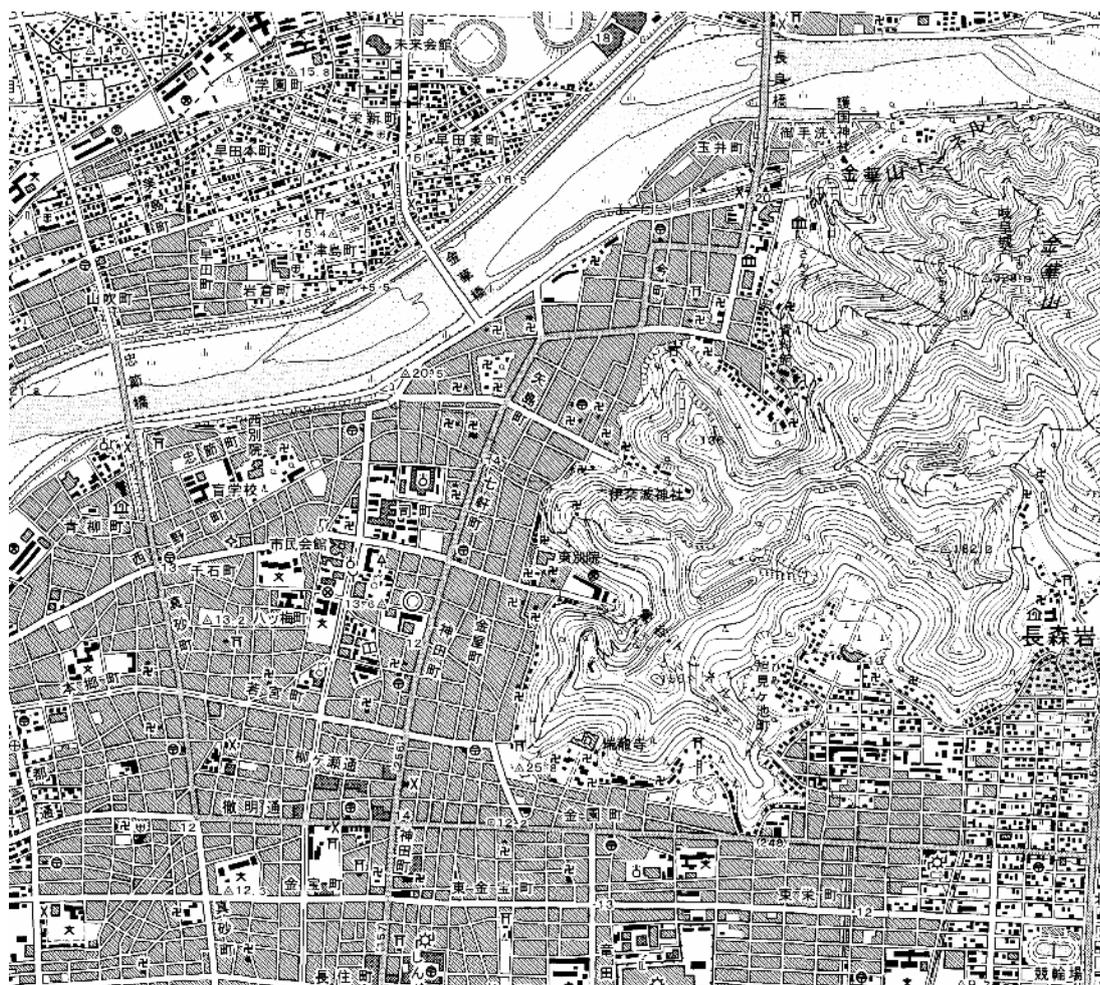


図 22

※印刷方法によっては、正しい縮尺で表示されない場合があります。

<No23 : 地図編集>

次の1～5は、国土地理院発行の1/25,000地形図を基図として、縮小編集を実施して縮尺1/40,000の地形図を作成するときの、真位置に編集描面すべき地物の一般的な優先順位について示したものである。最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

1. 三角点 → 道路 → 行政界 → 河川 → 建物 → 等高線
2. 三角点 → 河川 → 行政界 → 道路 → 建物 → 等高線
3. 三角点 → 道路 → 建物 → 河川 → 等高線 → 行政界
4. 三角点 → 河川 → 道路 → 建物 → 等高線 → 行政界
5. 三角点 → 河川 → 道路 → 行政界 → 建物 → 等高線

<No24 : 地図編集>

次の文は、地理情報標準に基づいて作成された、位置に関する情報を持ったデータ（以下「地理空間情報」という。）について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. ベクタデータは、点、線、面を表現できる。また、それぞれに属性を付加することができる。
2. 衛星画像データやスキャナを用いて取得した地図画像データは、ベクタデータである。
3. 鉄道の軌道中心線のような線状地物を位相構造解析に利用する場合は、ラスタデータよりもベクタデータの方が適している。
4. 地理情報標準は、地理空間情報の相互利用を容易にするためのものである。
5. 空間データ製品仕様書は、空間データを作成するときにはデータの設計書として、空間データを利用するときにはデータの説明書として利用できる。